

国公立大学を通じた大学教育再生の戦略的推進

これまで大学教育再生戦略推進費（以下、再推費）では、教育再生実行会議や中央教育審議会等において提言された大学教育改革を推進するため、設置形態を超えた競争的環境の下で、以下の枠組みに当てはまる事業を対象にしてきた。

- 世界をリードする教育研究拠点の形成
- 革新的・先導的な教育研究プログラムの開発に関する大学の優れた取組

基本運営方針

- ① 学長が申請するコンペ方式により、優れた取組を重点的に支援
- ② 学識経験者等の外部有識者による公平かつ厳正な審査を経て採択校を決定
- ③ 各年度のフォローアップ、中間・事後評価を徹底し、成果を明確化
- ④ 各プログラムの成果の公表・普及を徹底し、高等教育全体の改革を推進

（国費を投入するに相応しい大学を厳正に採択するために）

公募・審査・採択・執行・評価については、共通指針により運用を統一化

- ・ 特に、各プログラムの公募・採択にあたっては、共通の申請資格・申請要件を設定
- ・ 外部有識者で構成される委員会等における競争的環境下での審査を経て、採択校を決定



再推費の目的・必要性

スピード感が必要な政策を実現するためには、国が主導して新たな教育研究拠点の形成や教育研究プログラムの構築を促し、速やかに波及させることが不可欠

■ 世界をリードする教育拠点の形成

○ 卓越大学院プログラム

令和3年度要求・要望額 60億円 (77億円)

国内外のトップ大学や民間企業等の外部機関と組織的な連携を図り、企業等からの外部資金をはじめとする学内外資金を活用しつつ、世界最高水準の教育力と研究力を結集した学位プログラムの構築・実践を通じて、人材育成・交流、及び新たな共同研究の創出が持続的に展開される拠点を形成し、あらゆるセクターを牽引する卓越した博士人材の育成を進める。

■ 革新的・先導的教育研究プログラム開発やシステム改革の推進等

○ 知識集約型社会を支える人材育成事業

令和3年度要求・要望額 6億円 (4億円)

Society5.0時代等に向け、狭い範囲の専門分野の学修にとどまるのではなく、今後の社会や学術の新たな変化や展開に対して柔軟に対応しうる能力を有する幅広い教養と深い専門性を持った人材育成を実現するため、全学的な教学マネジメントの確立を図りつつ新たな教育プログラムを構築・実施するとともに、質と密度の高い主体的な学修を実現。

○ ポストコロナ社会を担う人材育成プログラム

令和3年度要求・要望額 15億円 (新規)

高度に複雑化した多様な課題に対応できる人材を育成するため、大学院において、ポストコロナ時代の社会構築に必要な高度の汎用的能力等を身につけるプログラムを人文社会科学等の知見を活用して構築する。

○ デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン

令和3年度要求・要望額 90億円 (新規)

デジタル環境を大胆に取り入れることにより、ウィズコロナ・ポストコロナ時代の高等教育における教育手法を具体化し、質の向上を図る。

国公立大学を通じた大学教育再生の戦略的推進

令和3年度要求・要望額 241億円
(前年度予算額 159億円)



○ Society5.0に対応した高度技術人材育成事業 令和3年度要求・要望額 5億円 (9億円)

産学連携による実践的な教育ネットワークを形成し、Society5.0の実現に向けて人材不足が深刻化しているサイバーセキュリティ人材やデータサイエンティストといった、大学等における産業界のニーズに応じた人材を育成する取組を支援する。

○ 持続的な産学共同人材育成システム構築事業 令和3年度要求・要望額 3億円 (3億円)

大学等において、企業等を超えたオープンイノベーションを促進するため、リカレント教育や実務家教員育成に関する産学共同教育の場やプログラムを提供するとともに、持続的に社会の要請に応えられる産学共同人材育成システムを構築する。

○ 大学による地方創生人材教育プログラム構築事業 令和3年度要求・要望額 3億円 (3億円)

地域の知の拠点としての大学が、他の大学等や自治体、地域の企業等と協働し、地域が求める人材を養成するための教育改革を実行するとともに、出口(就職先)と一体となった教育プログラムを実施することで、若者の地元定着と地域活性化を推進する。

○ 大学改革研究委託事業 令和3年度要求・要望額 0.6億円 (0.6億円)

今後の大学改革課題に機動的に対応するため、先導的な大学教育課題や政策内容に関する調査研究を大学等に委託。調査結果等の公表により各大学の取組を支援・促進することで、大学改革の一層の推進、教育の質の向上、大学の構造転換を図る。

■ 大学教育のグローバル展開力の強化

○ スーパーグローバル大学創成支援事業 令和3年度要求・要望額 33億円 (33億円)

我が国の高等教育の国際競争力の向上及びグローバル人材の育成を図るため、世界トップレベルの大学との交流・連携の実現・加速や多様な価値観が集まるキャンパスを実現するための人事・教務システム改革など体質改善を進め、徹底した国際化に取り組む大学を重点的に支援するとともに国内外への戦略的な情報発信を展開する。令和3年度は、採択大学がこれまで培ったネットワークやリソース、ノウハウ等を出し合い、我が国の大学全体のニューノーマルにおける国際競争力を強化するため、組織的に取り組む仕組みを構築。

○ 大学の世界展開力強化事業 令和3年度要求・要望額 12億円 (12億円)

大学教育のグローバル展開力の強化を図るため、我が国にとって戦略的に重要な国・地域との間で、質保証を伴った学生交流の実施等を推進する国際教育連携やネットワーク形成の取組を支援する。

● アジア高等教育共同体(仮称)形成促進 (4億円 (新規))

モビリティ促進の基盤となるルールメイク、質の保証を伴ったオンラインとのハイブリッド型の大学間・学生交流の促進を通じ、我が国が調和のとれたアジア高等教育共同体(仮称)構築を主導し、アジアや世界の平和的発展へ貢献する人材育成を図る。

■ 先進的で高度な医療を支える人材養成の推進

○ 先進的医療イノベーション人材養成事業

令和3年度要求・要望額 10億円 (11億円)

我が国の医療・健康水準の向上のため、高度な教育・研究・診療機能を有する大学・大学病院を通じて、新たな医療ニーズに対応した先進的な医療人材養成拠点を形成する。

● 保健医療分野におけるAI研究開発加速に向けた人材養成産学協働プロジェクト (3億円 (2億円))

将来にわたって国民に質の高い保健医療サービスを提供していくため、医療機関や民間企業・団体等の協力を得ながら、保健医療分野における人工知能(AI)技術開発を推進する医療人材を養成する。

● 医療データ人材育成拠点形成事業 (2億円 (2億円))

医療現場から大規模に収集される多様なデータの利活用を推進し、質の高い医療を実現するため、医療データの活用基盤を構築・運営する人材や医療データを利活用できる人材を育成する。

● 多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン (5億円 (7億円))

がんに係る多様な新ニーズに対応するため、ゲノム医療従事者、希少がん及び小児がんに対応できる医療人材、ライフステージに応じたがん対策を推進するがん専門医療人材を養成する。

○ 大学・大学院及び附属病院における人材養成機能強化事業 令和3年度要求・要望額 (4億円 (4億円))

医療の高度化等に対応するため、優れた高度専門医療人(医師・歯科医師・看護師・薬剤師等)を養成するための教育体制の充実を図る。

● 課題解決型高度医療人材養成プログラム (3億円 (3億円))

高度な教育力・技術力を有する大学が核となって、我が国が抱える医療現場の諸課題等に対して、科学的根拠に基づいた医療が提供できる優れた医療人材の養成を推進する。

● 基礎研究医養成活性化プログラム (1億円 (0.6億円))

基礎医学を志す医師の減少に歯止めをかけるとともに、我が国の基礎医学研究における国際競争力を強化するため、基礎医学分野において、社会的要請の高い病理学や法医学分野等における優れた基礎研究医を重点的に養成する。

○ 大学における医療人養成の在り方に関する調査研究

令和3年度要求・要望額 0.4億円 (0.7億円)

我が国の社会・経済構造の変化に伴う保健医療分野におけるニーズの変化に対応できる医療人養成の在り方について検討するための調査・研究を実施。効率的かつ質の高い医療提供体制の構築に貢献できる医療人や医療の進歩に貢献できる研究者、高度専門医療人材の養成を図る。

高等教育局主要事項－令和3年度概算要求－



文部科学省

「新たな日常」の実現や、Society5.0時代に向けて、我が国の成長・発展を牽引する高等教育への転換のため、「経済財政運営と改革の基本方針2020」（令和2年7月17日閣議決定）等を踏まえ、「学生の学びの確保」、「教育の質向上」、「教育研究基盤の強化」を一体的に推進する。

★=要求額のほか事項要求があるもの。 ※ 前年度予算額は、「臨時・特別の措置」（防災・減災、国土強靱化関係）を除く。

教育政策推進のための基盤の整備

国立大学改革の推進等 1兆1,187億円 ★ (1兆 854億円)

- 国立大学法人運営費交付金④ 1兆1,137億円 ★ (1兆807億円)
- 国立大学経営改革促進事業⑤ 50億円 (47億円)

▶ コロナ禍を踏まえた「新たな日常」に向けた教育研究や大学経営等を推進するとともに、第4期を見据えた「教育」「研究」「ガバナンス」改革を着実に実施

私立大学等の改革の推進等 4,378億円 ★ (4,094億円)

- 私立大学等経常費補助⑥ 3,004億円 ★ (2,977億円)
- 私立高等学校等経常費助成費等補助⑥ 1,025億円 ★ (1,017億円)
- 私立学校施設・設備の整備の推進⑥ 349億円 ★ (100億円)

▶ 私立大学や高校等の運営に必要な経常費等を確保しつつ、メリハリある配分の強化を通じて各大学の改革を推進するとともに、コロナを踏まえた質の高い大学教育の取組を支援

国立高等専門学校の高度化・国際化⑦ 671億円 ★ (623億円)

▶ AI時代を先導する人材育成や“KOSEN”の海外展開を通じて、高等専門学校の機能の高度化・国際化を推進するとともに、地域に求められる人材育成機関としての機能を強化

※ このほか、海洋人材を育成するとともに、災害支援機能を備えた大学、高等専門学校の練習船建造費を要求（事項要求）

夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力の養成

大学入学共通テストの着実な実施⑧ 19億円 ★ (14億円)

▶ 大学入学共通テストの感染症対策を含む円滑な実施や、新学習指導要領に対応した試験問題の調査研究（CBT方式による試験実施の検討を含む）

誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットの構築

高等教育の修学支援の確実な実施⑨ ★ (5,823億円)

※ 内閣府計上予算を含む。

- ▶ 高等教育の修学支援（授業料等減免・給付型奨学金）の確実な実施
- ▶ 無利子奨学金の貸与基準を満たす希望者全員に対する貸与の確実な実施

社会の持続的な発展をけん引するための多様な力の育成

グローバル人材育成のための大学の国際化と学生の双方向交流の推進

◆ 大学教育のグローバル展開力の強化 45億円 (45億円)

- スーパーグローバル大学創成支援事業⑩ 33億円 (33億円)
- 大学の世界展開力強化事業⑪⑫ 12億円 (12億円)

▶ 我が国の高等教育の国際競争力の向上及びグローバル人材の育成を図るため、国際化を徹底して進める大学を支援。また、大学教育のグローバル展開力の強化を図るため、我が国にとって戦略的に重要な国・地域との間で、オンラインも活用した質保証を伴った国際教育連携やネットワーク形成の取組を支援

◆ 大学等の留学生交流の充実⑬ 344億円 (341億円)

- 大学等の留学生交流の支援等 79億円 (80億円)
- 優秀な外国人留学生の戦略的な受入れ 265億円 (261億円)

▶ 日本人学生が海外留学を継続できるよう必要な支援等を行うとともに、「留学生30万人計画」の趣旨・目的を踏まえ、引き続き外国人留学生の受入れに取り組む

大学教育再生の戦略的推進

◆ 大学院教育改革の推進

- ポストコロン社会を担う人材育成プログラム⑭ 15億円 (新規)
- 卓越大学院プログラム⑮ 60億円 (77億円)

▶ 社会を牽引するトップレベルの博士人材養成に必要な予算を確保しつつ、ポストコロナ時代に対応する人材養成についてさらに修士レベルの教育プログラム支援を創設することで、大学院の人材養成能力を総合的に強化

◆ 革新的・先導的教育研究プログラム開発やシステム改革の推進

- 知識集約型社会を支える人材育成事業⑯ 6億円 (4億円)
- Society5.0に対応した高度技術人材育成事業⑰ 5億円 (9億円)
- 大学による地方創生人材教育プログラム構築事業⑱ 3億円 (3億円)
- 持続的な産学共同人材育成システム構築事業⑲ 3億円 (3億円)
- 先導的・大学改革推進委託事業⑳ 0.6億円 (0.6億円)
- 観光産業の持続的な成長を支える人材育成・教育に関する調査研究㉑ 0.3億円 (新規)
- 障害のある学生の修学・就職支援促進事業㉒ 0.5億円 (0.3億円)

▶ 大学等における革新的・先導的教育研究プログラムを開発・実施する取組や、迅速に実現すべきシステム改革を支援・普及することで、大学教育の充実と質の向上を図る

高等教育局主要事項－令和3年度概算要求－



文部科学省

「新たな日常」の実現や、Society5.0時代に向けて、我が国の成長・発展を牽引する高等教育への転換のため、「経済財政運営と改革の基本方針2020」（令和2年7月17日閣議決定）等を踏まえ、「学生の学びの確保」、「教育の質向上」、「教育研究基盤の強化」を一体的に推進する。

★=要求額のほか事項要求があるもの。 ※ 前年度予算額は、「臨時・特別の措置」（防災・減災、国土強靱化関係）を除く。

社会の持続的な発展をけん引するための多様な力の育成

先進的で高度な医療を支える人材養成の推進

◆先進的医療イノベーション人材養成事業 10億円（11億円）

- 多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン²³ 5億円（ 7億円）
- 医療データ人材養成拠点形成事業²⁴ 2億円（ 2億円）
- 保健医療分野におけるAI研究開発加速に向けた人材養成産学協働プロジェクト²⁵ 3億円（ 2億円）

▶ 我が国の医療・健康水準の向上のため、高度な教育・研究・診療機能を有する大学・大学病院を通じて、新たな医療ニーズに対応した先進的な医療人材養成拠点を形成する

◆大学・大学院及び附属病院における人材養成機能強化事業 4億円（ 4億円）

- 課題解決型高度医療人材養成プログラム²⁶ 3億円（ 3億円）
- 基礎研究医養成活性化プログラム²⁷ 1億円（ 0.6億円）

▶ 社会から求められる多様な医療ニーズに対応するため、大学・大学病院において高度な専門性を有する医療人材を養成するための教育プログラムを構築し、国内への普及を図る

◆大学病院における感染症に対応できる高度医療人材養成等²⁸ 50億円★（新規）

▶ 新型コロナウイルス感染症対応による影響について、関係省とも連携し、大学病院の基盤の安定化を図るとともに、シミュレーション設備を用いた教育プログラムを構築・実施し、今後未知の感染症発生時にも対応できる医師等の高度医療人材を大学病院において養成

Society5.0の実現及びウイズコロナ・ポストコロナに向けた人材養成の強化

◆大学院教育改革の推進【再掲】¹⁴¹⁵ 75億円（77億円）

◆数理・データサイエンス・AI教育の全国展開の推進²⁹ 10億円（10億円）

※ 国立大学法人運営費交付金の内数

▶ モデルカリキュラムを踏まえた教材作成や教育に活用可能な実際の課題・データの収集・整備等を実施するとともに、ワークショップやFD活動等を通じた教える側の体制強化など全国への普及・展開を一層加速

◆知識集約型社会を支える人材養成事業【再掲】¹⁶ 6億円（ 4億円）

▶ Society5.0時代等に向け、幅広い教養と深い専門性を持った人材養成を実現するため、全学的な教学マネジメントの確立を図りつつ新たな教育プログラムを構築・実施するとともに、質と密度の高い主体的な学修を実現

◆Society5.0に対応した高度技術人材養成事業【再掲】¹⁷ 5億円（ 9億円）

◆デジタルを活用した大学・高専教育高度化³⁰ 90億円（新規）

▶ デジタル環境を大胆に取り入れることにより、ウイズコロナ・ポストコロナ時代の高等教育における教育手法を具体化し、質の向上を図る

◆大学教育のデジタル化³¹ 0.5億円（新規）

▶ 高い学修成果を生み出すなど大学の授業の価値を最大化するため、産学が協働してデジタル技術を高度に活用する教育の取組を奨励する「スキームD」を実施

◆ジョブ型研究インターンシップ推進事業³² 1億円（新規）

▶ 博士課程学生が社会で活躍する場を拡大するため、「ジョブ型研究インターンシップ」の先行的・試行的な実施に必要なマッチング支援の仕組みを構築

高等教育局主要事項－令和3年度概算要求（コロナ対応関係）－



ウィズコロナ期間を乗り切り、ポストコロナ時代の「新たな日常」に向けて、「新型コロナウイルス感染症への対応など緊要な経費」として必要な予算を計上。

ポストコロナの「新たな日常」の実現

◆大学等の教育研究基盤整備等 ④⑥⑦ 648億円

- 国立大学法人運営費交付金等（※） 331億円
- 私立大学等経常費補助 27億円
- 私立高等学校等経常費助成費等補助 8億円
- 私立学校施設・設備整備（※） 249億円
- 国立高等専門学校機構運営費交付金 33億円

※ 「GIGAスクールサポーター配置促進事業」に係る経費（国立1億円、私立3億円）を含む。

▶ ウィズコロナ・ポストコロナ時代において、大学の知を結集し、日本全土あるいは地域社会に貢献する取組や基盤設備の整備等や、感染症対策を含む安全・安心な生活空間及び学修機会確保に必要な基盤的施設・設備等の環境改善整備等を支援する。

▶ 新型コロナウイルス感染症に対応した設備を含む高専教育の高度化に資する教育設備の更新・整備を実施する。

◆デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン ⑩ 90億円

▶ デジタル環境を大胆に取り入れることにより、ウィズコロナ・ポストコロナ時代の高等教育における教育手法を具体化し、質の向上を図る。

ウィズコロナ下の教育研究活動の継続支援

◆ポストコロナ社会を担う人材育成プログラム ⑭ 15億円

▶ 高度に複雑化した多様な課題に対応できる人材を育成するため、大学院において、ポストコロナ時代の社会構築に必要な高度の汎用的能力等を身につけるプログラムを人文社会科学等の知見を活用して構築する。

◆奨学金システム改修等（日本学生支援機構）⑨ 14億円

▶ 奨学金事業の新型コロナウイルス感染症への対応のため、デジタル手続を可能とするためのシステム改修等を通じた体制強化を行う。

◆日本留学試験の着実な実施（日本学生支援機構）⑬ 3億円

▶ 外国人留学生として、我が国の大学等に入学を希望する者が主に受験する「日本留学試験」を着実に実施するため、新たにコンピュータを活用した試験を導入する。

令和3年度概算要求額（要望枠） 821億円

★＝要求額のほか事項要求があるもの。 ※ 予算額は要望額（コロナ枠）

コロナに負けない「安全・安心」環境の実現

◆大学病院における感染症に対応できる

高度医療人材養成等

50億円★

▶ 新型コロナウイルス感染症対応による影響について、関係省とも連携し、大学病院の基盤の安定化を図るとともに、シミュレーション設備を用いた教育プログラムを構築・実施し、今後未知の感染症発生時にも対応できる医師等の高度医療人材を大学病院において養成する。

その他コロナ対応関係【事項要求】 ※ 予算編成過程において検討

◇大学等における新型コロナウイルス感染症の影響により 家計急変した困窮学生に対する授業料等減免の支援 ④⑥⑦

▶ 大学等が実施する家計が急変した家庭の学生等に対する授業料等軽減措置に必要な経費を支援することを通じて、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、意欲のある学生が、経済的理由により修学を断念することがないよう支援する。

◇大学入学共通テストの着実な実施 ⑧

▶ 大学入学共通テストにおける感染症防止対策として、手指消毒のための速乾性アルコールの準備や、新型コロナウイルスに罹患している場合等に受験する追試験の規模を拡大することなどについて支援を行う。

◇大学・高等専門学校の船舶建造 ⑦

▶ 老朽化が著しい大学・高専の練習船の代船建造を行うことで、船舶の安全航行・海洋環境保全に配慮しつつ、新型コロナウイルス感染症への対策を十分に講じる。

※ このほか、私立学校施設の耐震化事業等（国土強靱化関係）、全ての子供たちの学びの保障及び個別最適な学びの実現に向けた少人数教育の実施のために必要な支援については、予算編成過程において検討。